

黒潮上流域流れ藻調査

平成30年2月28日 水産技術開発センター

当センターでは、今年度より、黒潮上流域における流れ藻の分布状況調査を実施することとなりました。東シナ海の黒潮上流域にブリの産卵場があり、産まれた稚魚は流れ藻（中国沿岸を起源とするアカモクという海藻で構成される）に寄り添って本県海域まで運ばれてきます。これを掬い取って生け簀で養殖します。上流域の流れ藻分布状況を調べることで、本県海域への流れ藻やモジャコの来遊予測に役立つと期待されています。

漁業調査船「くろしお」により2月13～18日に実施した調査の結果、流れ藻視認個数は13,722個、10マイル当たり流れ藻視認個数は501.7個でした。水中ビデオカメラを使った観察では小魚の群れが観察されましたが、モジャコかどうか確認できませんでした。

調査結果の詳細は、当センターホームページ（<漁海況情報>の“モジャコ情報”）に掲載しましたのでご参照下さい。



- 上：潮目に連なる流れ藻
- 右上：50mプールより大きな流れ藻塊
- 右下：流れ藻の下に集まる小魚の群れ